




岸 高明

の主張

事務所 茅ヶ崎市本村4-10-8 51-4838 Fax51-4839

支所 茅ヶ崎市新栄町7-1岸ビル6F 89-3807 Fax89-3806

ホームページ <http://homepage3.nifty.com/takaaki-kishi/>

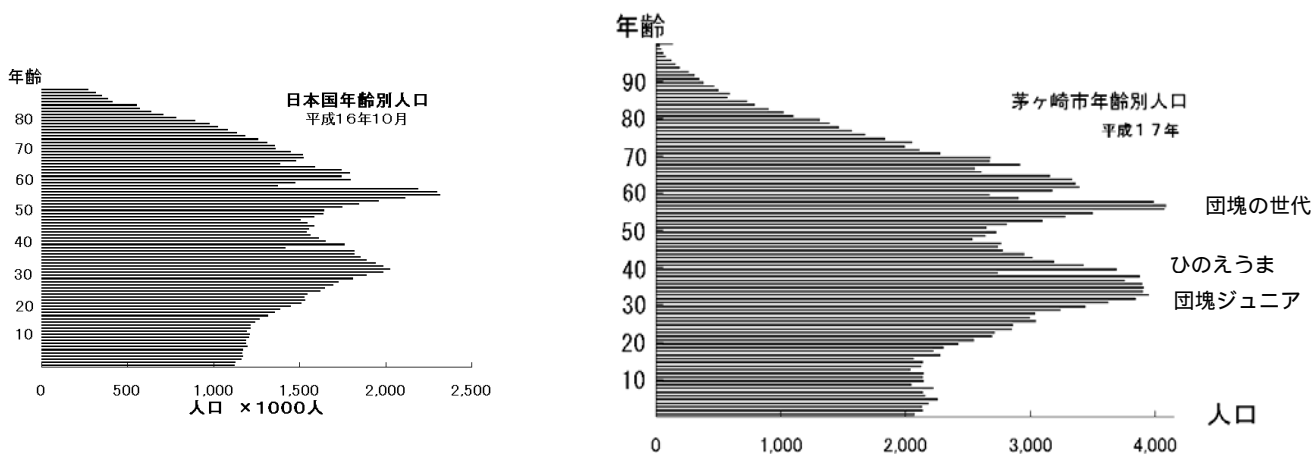
年齢別人口を正確に予測し計画に反映！

茅ヶ崎市の今後の財政計画は無論の事、都市計画や福祉計画を策定するにあたり、本市の将来の年齢別人口構成を正確に把握し反映させる事が、極めて重要と私は考えます。

例えば、財政について、平成17年の市民一人当たりの市債(借金)は一般会計で208,420円、特別会計で241,504円です。将来、市税を負担する世代が減少するのは確実です。最初に、ひとり当たりの市債(借金)を明確にしておき、期待値ではなく客観的事実に基づく人口予測から市債額を決定するべきです。

夕張市が財政破綻しましたが、人口減少に伴い、市民ひとり当たり市債残高が見かけ上増えてしまった面があります。例えば、本市の庁舎は耐震性に問題があり建て替えが検討されています。耐用年数と市債(借金)の償還期間と本市の将来人口の関係を正確に見通し、建築規模、改修で対応出来ないかなどと検討しなければなりません。

左側のグラフは日本国、右側は茅ヶ崎市の年齢別人口です。30歳代の団塊のジュニア世代の人口は、茅ヶ崎市の方が若干多い傾向です。都市圏としてまた茅ヶ崎市という魅力から、他市からの転入世帯と思われ政策的に大事にしたい点です。“ひのえうま”の年における出生数の減少は、少子化対策上からも興味深い現象です。



さがみ縦貫道、新たなまちづくりのチャンスに！

香川のみずきから海岸まで結ぶ東海岸寒川線、本村から文化会館へ相模線をトンネルで抜け踏み切り渋滞解消への新国道、大山街道の渋滞解消への大磯藤沢線などが進行中。

“さがみ縦貫道”が平成20年には完成予定。県央、東名高速へ高速道路により直接アクセスが可能に。市民の利便性向上と共に、茅ヶ崎が湘南海岸への入口となり観光集客、そして工場立地条件向上などにも寄与します。変化をチャンスとする新たな都市を市民と共に創ります。



岸高明の決意

茅ヶ崎市議会議員として、一所懸命に走ってきた、この4年間でした。真正面から問題に当たる。逆に議論が硬直化していると判断した時は、多面的な視点で解決を図ってまいりました。そして、多くの成果を得ました。長年の懸案であった千の川周辺の浸水対策や都市基盤整備、安心安全のまちづくりなどが進行しています。また、海岸の自然環境保全、ゴミ出し日お知らせメールなども継続して実現に向け努力します。

地方分権が進展し、議員のあり方が問われています。少子・高齢化が日本の経済活力や社会保障に対し影を落としています。しかし、我が茅ヶ崎市が、誕生から老後まで安心して暮らせるまち、活力溢れる商業・工業・農業のまちとして更なる発展をすることを、私は信じ行動します。

岸高明の今後の政策

無駄の無い効率的な行政

私は、今後の財政負担を見通し行政そして公社と議会も含めた改革を推進します。

私は、各種評価制度と広域行政を積極的に推進します。

高齢化社会を豊かにすこす

確実に迫り来る超高齢化社会には、今、対応しなければ間に合いません。

私は、将来に備えた福祉社会の基盤整備につとめ、超高齢化社会到来に備えた財政健全化を推進します。

障害者が安心して暮らす

私は、昨年施行の障害者自立支援法の運用が理念倒れになっていないかチェックし福祉の充実を図ります。

少子化対策

私は、お母さん、そしてお父さんも含めた家族・地域と連携した子育て支援を推進します。

快適な都市環境と交通網

私は、都市における海岸と丘陵と河川の意義を重視し、快適な住環境と商業・工業の発展のため理想像を市民と共に描き、実現します。

教育と文化とスポーツの振興

私は、のびやかに育つ子供の環境、豊かな文化とスポーツの環境を整えます。

市民・議会・行政・が共に創るまち

地方分権は我が市独自の発展の好機です。私は、市民と議会・行政が一丸となるまちづくりを推進します。

岸高明の過去4年間の主な活動

財政の健全化と公開、行政評価、千川周辺の浸水対策、相模川河畔スポーツ公園公認陸上競技場化と移設、土地利用計画、自治基本条例、障害者自立支援法、少子化対策、石神古墳、ゆかりの文化・芸術紹介、文化会館設備貸出、歩道照明、元町・幸町間跨線橋、学区など

岸高明 プロフィール



昭和26年10月7日(故)岸芳雄の長男として生まれる

茅ヶ崎小学校入学、分離校の梅田小学校卒業、梅田中学校卒業、県立茅ヶ崎高等学校卒業

相模工業大学機械科に学ぶ 千代田電子技術専門学校無線技術科卒業

電子機器・画像処理システムの研究開発に従事し技術論文の著作や特許を取得

日本エレクトロプレイング・エンジニアーズ(株)勤務後 (有)岸体育館代表取締役

元県立茅ヶ崎養護学校 PTA 本部役員

平成15年 添田高明市長の推薦を受け茅ヶ崎市議会議員となる。

ローカル・マニフェスト推進地方議員連盟会員